



巻頭特集 2020年秋季 新入職員オリエンテーション開催

セクションたより 医事課

LEADER'S VOICE リハビリテーション科 副主任 眞喜屋佳恵

医局便り M-1 グランプリ2020 [整形外科 新田智久]

2020
11月

広報 vol.251

「正確な診断」「適切な治療」「良質な対応」

医療法人 八重瀬会
同仁病院

創立100周年 これからも地域と共に



2020年度秋季 新入職員 オリエンテーション 開催



令和2年11月6日(金)、令和2年5月~11月に入職した職員のアリエンテーションが行われました。

例年、丸一日をかけて行っているオリエンテーションですが、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、講師、新入職員はマスク着用、手指消毒の徹底と換気を行い半日という時間短縮での開催となりました。

理事長・院長挨拶、八重瀬会概要や感染対策、医療安全と短い時間ではありましたが、参加者は真剣に講義を受けました。八重瀬会の一員として、これから一緒に頑張っていきたいと思います！

◆9月から正職員として入職させて頂き、秋季新入職員オリエンテーションに参加しました。

山内院長からは新型コロナウイルスの各国での名称を教わり、ウイルスの語源や国によって色々な呼び方があることを知りました。

また感染管理についての講義では感染経路別の対策の重要性を知り、とくにこのコロナ禍での医療従事者として感染対策の徹底を心がけていきたいと思えます。

私は派遣社員として同仁病院に数年勤務後、正規職員となりましたが今回のオリエンテーションを通して八重瀬会の組織図や看護部についても詳しく知ることができ今まで以上に他部署にも興味がありました。八重



瀬会の理念でもある「May I help you」の気持ち大切に、患者さん、利用者さんはもちろん一緒に働く職員の方々にもたくさん声を掛け合い協力し合っていきたいと思えます。

【企画室 宮里 愛利】

◆令和2年10月16日に、診療情報管理士として入職し、新入職員オリエンテーションに参加させて頂きました。

コロナ禍により、半日のショートバージョンでの開催でしたが、マスク着用と適宜換気を行いつつも、密度の濃い講義を受ける事ができました。

理事長のあいさつから始まり、外来師長、総務部総務室室長や看護部部長等、総勢7名による各々の個性に溢れた内容でした。

当院の歴史や「同仁」という言葉の語源(一視同仁:全ての人を平等に)、当院の基本姿勢である「May I help you?」(お手伝いしましょうか?) (何かお困りですか?) :我々から声をかけよう:の精神を教えてくださいました。

この言葉を胸に日々頑張っていきたいです。

蛇足:「May I help you?」というフレーズは、私が好きな映画のひとつである、「ショーシャンクの空に」のシーンで出てきます。好きなシーンなのですが、誰からも理解されません。映画自体は非常に良い出来ですので、是非ご覧になって下さい。【診療情報管理室 又吉靖】

感謝

新型コロナウイルス感染症対策にかかる寄贈へのお礼と公表について

当法人における新型コロナウイルス感染症対策に対し、右記の方々より心温まる寄附をいただきました。当院へのご配慮をいただいておりますことに、心から感謝しお礼申し上げます。ご寄附いただいたマスク等の品々は、有効に活用させていただきます。これからも全職員が一丸となって、安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。

ご寄附いただいた企業・団体様（五十音順）

浦添市立内間小学校5年3組様

第一生命保険株式会社 那覇支社
浦添中央営業オフィス様



医療法人 八重瀬会
同仁病院 職員一同

「ねぎらい」の意味を込めたネギを育ててくれました！



アクションにより

医事課



スタッフ紹介

- <前列左から> 柿山英理子、知念ゆき子
- <後列左から> 比嘉 寿、山崎靖大、徳原勇人、渡邊真弓、上良知咲
- <その他> 田仲真由美、幸喜遥香、金城愛美、比屋根くみ子、上地さやか、宮城はるな、時吉恵美、城間竹美、神里奈奈、宮國ミチル、呉屋知子、比嘉伽奈子、島袋樹恵、諸見里 章

主な業務

<医事業務>

- * 初診再診受付・保険証確認登録・入院/外来患者案内・各診療科別問診票記入依頼
- * 入院案内・電話（外線/内線）対応・入院会計/外来会計業務・振込入金処理業務
- * 実習生への研修対応・外来/入院未収金督促業務・文書受付業務等

<保険請求業務>

- * 診療報酬明細書（レセプト）点検・レセプト医師点検依頼・診療報酬費請求業務
- * 査定処理・返戻処理・再審査処理・月遅れ処理・自賠責/労災請求業務
- * 歯科口腔外科請求業務・各公費請求業務等



病院内で医療事務を行う部署が医事課です。医事課では、外来診療や入院の受付、医療費の会計、そして保険請求業務など様々な業務を行っております。患者さんが来院した際、最初にお会いするところが医事課であり「病院の顔」と呼ばれています。来院された方が抱えている病気などの不安を少しでも和らげ、より良い信頼関係を保てるよう「目配り・気配り・心配り」を常にもち、笑顔で親切丁寧な接遇を行うように心掛けています。当院へ来院された際、お困りのことがございましたら、1階受付にお声かけ下さい。

リーダー研修を終えて【10月5日/11月9日】

秋の昇級で新役職者となった副主任者へ、八重瀬会トータルアドバイザー安部氏によるリーダー研修を行いました。今回は少人数のため座談会形式の研修。受講者に感想を聞いてみました。

◆ 少人数での研修参加は堅苦しくなく、二時間あっという間に過ぎていきました。今回、配布された資料はとても重要な内容が多いのにも関わらず、読み返すのにも大変重宝するものでした。10月より副主任として就任することになりました。同仁病院に勤務させていただき、若いスタッフと仕事をしています。時折、相談や判断を求められる場面も少なくはありません。

しかし、改めて組織の中での役職者の役割：「ただのいい上司」だけにはなりたくない。役職者は「責任の重さ」や「損をしている気持ちになる」といったネガティブな感情を抱きやすいと思います。そういう気持ちもポジティブに、自分自身が進化して、患者さん・スタッフに頼れる存在として日々努力していきます。参加させて頂き本当に感謝しています。ありがとうございます。

【ゆい北病棟 副主任 窪田桃子】

◆ 「役職者の心得」と題したリーダー研修に参加した。そこでは、なぜ役職者が必要なのか、役職者は損をするのか等の講義があった。

その中で私が感銘を受けたのは「役職者に必要なクリエイティブな感覚」の「智慧」「注意」「誠実」「意志」であった。それぞれの内容は省略しますが、それぞれ4つの要素がバランスよくリンクすることが大切だが、必ず得手不得手が出てきます。自らのウィークポイントとして捉え、どこでバランスを取るのかをしっかりと考える必要があるところでした。前述の4つの要素を意識しながら、副主任としての誇りを持ち、これから日々の業務にあたりたいと思います。

大変貴重な講義をして頂いた安部氏に感謝いたします。

【手術室 副主任 喜久山淳司】

医局便り

M-1グランプリ2020

10月に沖縄に来てから早くも一ヶ月が経ちました。気候も涼しくなり2020年の終わりが近づいていることを感じます。

年が終わると言うことはこの季節ですね。そう「M-1グランプリ」です！今年は12月20日に決勝戦の開催が決まりました。

M-1といえば年末のTV番組という印象が強いと思いますが、実は8月1日から一回戦が全国各地で始まっています。これを書いてる今、準々決勝まで大会が進んでいます。

昔は直接ライブ会場に行かないと見れなかったのですが、数年前から予選の配信が始まりました。今年もYouTube、GYAO!で全組み観ることが出来ます。この予選が非常に面白いんです。

世間的には全く無名だった去年の王者ミルクボーイも三回戦で「コーンフレイク」を披露し、お笑い好きの間では優勝候補としての時期すでに名前があがっていました。

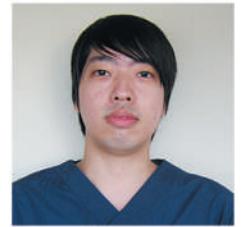
今年個人的に注目している芸人を紹介したいと思います。気になった方は是非動画をご覧ください。

・オズワルド (吉本興業所属)

突拍子もないボケを繰り出す島中と、緩急のついたツッコミを自在に操る伊藤の掛け合いが魅力のコンビ。去年無名ながらも決勝進出を果たしました。今年ラフターナイトを制覇し、去年の勢いそのままに完成度に磨きがかかっています。

・からし蓮根 (吉本興業所属)

コント漫才を主軸とし、伊藤の淡々としたボケと杉本の熊本鈍りの鋭いツッコミが特徴。こちらも去年、決勝進出しましたが、フレッシュさが空回りして結果を残せませんでした。しかし一度決勝の舞台を経験したことにより、さらなる成長が期待できます。



整形外科 新田智久

・滝音 (吉本興業所属)

漫才師ですが、キングオブコント2020で決勝進出し漫才より先にコントが評価されました。ハイトーンボイスでパワーワードを連発するクセの強いツッコミが特徴です。ツッコミのさすがが生み出すワードは新鮮でオリジナリティに溢れています。一度みたらハマること間違いなしです。

・真空ジェシカ (プロダクション人力舎所属)

お笑い好きの間で高い評価を受けるコンビ。コント漫才が主体ですが、ひとつひとつのボケが強くて、大喜利に定評があります。昔はある程度お笑いを見てないと理解できないようなボケも多かったですが、今年はM-1に向けて万人ウケするようなネタへチューニングしており期待値大です。

コウテイ、令和ロマン、ロングコートダディなど、まだまだ紹介したいコンビは無限にいますが、書ききれないのでここで終わりにします。

皆さんもM-1グランプリを観て、2020年を笑顔で締め括ってはいかがでしょうか。



「言語聴覚士が携わる口腔ケアと口腔機能運動」

リハビリテーション科 副主任 眞喜屋佳恵



言語聴覚士という職種を聞き慣れない方が多くいらっしゃると思いますが主に聴覚・言語・摂食嚥下の機能向上を支援する仕事を行っております。国家資格が制定されて21年が経過しますが「摂食嚥下」が注目されていく中で、少しずつ認知度が上がってきている職種です。TVでもこれから注目される職種としてベスト10に入ったことがありまして、認知度が高まっていくのは嬉しいですね。

私は国家資格制定前より「言語療法士」として脳性麻痺児や重度心身障害児者を相手に仕事をしておりました。振り返ると「嚥下障害」という概念が専門家の間で少しずつ広がってきた時期であり、言語障害の概念やアブローチ全てにおいて変革の時代でした。口腔ケアの重要性も現在ほど認知されていません。もちろん教科書や参考本は少なく勉強会や研修会に積極的に参加し、患者さんやご家族とのふれあいや指導を通して様々な知見を得、また自身の子育てを通して子供の発達について理解を深めることが出来ました。現在は高齢者の摂食嚥下指導の他に

自閉症スペクトラム障害などの発達障害や構音障害(発音の異常)などの子どもたちに言語指導を行っております。

現在、とても注目して取り組んでいるのが「口腔ケアと口腔機能運動」です。「口」は「食への・話す」という2つの活動に重要な器官です。口腔ケアは摂食嚥下を行う上で肺炎予防や生命維持に重要であり、口腔機能運動は言葉の表出や発音など言葉を習得するために必要な運動能力のため、私たち言語聴覚士にとって「口」の機能を高める口腔ケアと口腔機能運動は必要不可欠なものです。

そんな口腔ケアですが、先日TV番組でもとても興味深い内容が放送されていました。歯周病と認知症の関係性について、認知症は歯周病からの毒素が15年〜20年以上かけて脳内に蓄積し発症する、という内容でした。以前より歯周病は肺炎、心臓疾患や糖尿病、認知症などに影響するということは認識していましたが、そのメカニズムが最近の研究ではっきりしたとの事です。

番組では認知症予防の口腔ケアの重要性について言及していたのでぜひ皆さんにお伝えしたいと思います。

15〜20年以上かけて歯周病からの悪い物質が脳に蓄積されていくという事なので、年齢を問わず早い時期から正しい口腔ケアを身に付けて習慣化し歯周病を予防していく必要があるという事です。つまり遅くても40〜50歳代から習慣にしなければならないということです。口腔ケアの方法ですが、歯周病の原因となる歯垢(プラーク)を取り除くのは歯ブラシだけでは不十分で歯間ブラシやデンタルフロスなどと一緒に使った方がより効果的との事ですが、自己流で十分に取れない場合は、かかりつけ歯科医院で除去してもらうことが必要のようです。

日本歯科医師会によると、口腔ケアを日常的に取り入れ、口の中を清潔に保つことでインフルエンザ感染リスク低下の他に、第3波が開始した新型コロナウイルスや感染性の重症化リスク軽減の可能性が推察されているようです。口腔運動については舌や口唇の動きが未熟で、誤った発音をしている子どもたちに対し口腔体操を通して口腔運動能力を高めて正しい発音の習得に取り組んでおります。

また高齢者の場合、食事前に口腔体操を行うと、誤嚥予防にも繋がります。「嚥下体操」や「あ・い・う・べ体操」として紹介しております。美容的にも「しわ・老化予防」に有効のようで、私は、お陰様で実年齢より若く見られるのが自慢です。

ちょうどこの原稿を書いている11月は「歯科口腔保健啓発月間:歯(は)がんじゅう月間」となっており、体の健康はお口から、をテーマに口腔ケアの大切さについてアピールしています。様々な病気への予防に「口腔ケア」は大切ですので、皆さん意識して実践して頂けたらと思います。

これからも高齢者を中心とした摂食嚥下と子どもたちの「ことばの成長」を応援しながら言語聴覚士として関わっていきたく思います。



▶▶ 新規着任ドクター & 内科外来 週間スケジュール



内科 舘一男

11月16日より、内科で糖尿病を中心に診ていくことになりました。
眼科医として、30年ほどの間、合併症である網膜症による失明をふせぐための治療（主に手術）にあたってきました。実は、視力の低下を防ぐ為にもっとも大切なことは良好な血糖コントロールを保つことなのです。というわけで、ずっと糖尿病内科の診療も同時に行っていました。もちろん、目だけではなく腎臓を守り透析にならないように、あるいは神経や血管を守っていく必要もあります。すでに透析中であっても、更なる悪化を防がねばなりません。家系に糖尿病の方がおられましたら、食後の血糖を測ったりして、早期発見につとめ本格的な糖尿病にならないようにしていきます。これまでなかなか良くならず「もうどうしたらいいのかわからない」とお困りの方もお気軽にご相談下さい。わかりやすく、結果の出る治療についてご説明いたします。血糖値が上がる理由や仕組み、食べ物について、わかっていたけるまで簡単な言葉で何度でもご説明いたします。
患者様のご希望に沿った治療をしっかりと話し合いながら決めていきますので安心してご相談下さい。

	日	月	火	水	木	金	土
午前	当番制	栗國 克己 山城 惟欣 真榮平 直也	田寺 修一 赤嶺 良光 舘 一男	休診日	田寺 修一 山城 惟欣 増田 昌人	渡久地 史明 赤嶺 良光 浦添総合病院	渡久地 史明 舘 一男 [予約] 桑江 紀子 (腎外来含む)
午後	休診	渡久地 史明 赤嶺 良光 舘 一男	栗國 克己 渡久地 史明		渡久地 史明 真榮平 直也 宮城 道夫	田寺 修一 (禁煙外来含む) 栗國 克己 (禁煙外来含む) 舘 一男 (糖尿病外来含む)	赤嶺 良光 前里 輝



レスパイト入院

(介護家族支援短期入院)

レスパイト入院とは？

在宅療養されている患者さんのご家族を支えることを目的とした入院です。
「レスパイト」とは「一時休止」「休息」という意味。冠婚葬祭や旅行などの事情で、在宅介護が一時的に困難となる場合に期間を定めた入院を受け入れ、ご家族（介護者）の負担を軽減する仕組みです。

主な利用条件

- 退院後、ご自宅又は介護施設に帰る方がご利用できます。
- 褥瘡処置、たん吸引、麻薬の管理、胃ろう、気管切開、在宅酸素など医療行為のある方もご利用できます。
- 1回の入院期間は、14日間までです。
- 退院から3カ月の期間を空けることで、何度でもご利用できます。
- 基本的に一般検査は行いません。
- 入院の際は、お薬を持参してください。
- 患者さんの状態によっては、入院期間を短縮する場合があります。
- 医療保険の適応となります。

詳しい内容など
まずはお気軽に
ご相談下さい！

お問合せ

同仁病院 地域医療連携室 [受付] 9:00~17:00 [休診日] 水曜日, 日曜日 (午後), 祝祭日
TEL 098-870-5375 / FAX 098-874-7033

発行者



医療法人八重瀬会 同仁病院
企画室 広報誌制作チーム

〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12
TEL 098-876-2212 FAX 098-876-4209



■編集後記

「三つの密」に引き続き「五つの小」なる新たなキーワードが東京都小池都知事より発信がありました。会食は少人数・小一時間・小皿・小皿・小皿といった内容となり、今までの「飲み会」とは雰囲気異なるものになりそうです。しかし、飲食店等の施設側で対応できる「三密」より個人の意識による「五つの小」。世の中に浸透することができるのでしょうか。 [平]



f 八重瀬会 同仁病院
facebook ページ

